

沖縄は子育て天国

山口さやか

琉球大学大学院医学研究科皮膚科学講座講師

私は整形外科医の夫と娘3人の5人家族です。生まれも育ちも沖縄ですが、結婚後に2年ほど北海道の帯広に住んでいました。北海道では、美味しいもの、素晴らしい自然がたくさんあり、会う人もみなさんよい方で、いい思い出ばかりです。いつかまた北海道に住みたい、と夢見ています。

話は変わって、沖縄県の自慢の一つが「出生率日本一」です。4、5人の子連れは普通で、よいか悪いか、居酒屋で子どもたちが走り回っているのも普通です。都会では、電車やバスにベビーカーを乗せて怒られた、と話題になっていましたが、沖縄では考えられません。子どもを連れて歩いていると、知らないおじいやおばあが「この子は将来美人になるさー」とほめてくれたり、「これ食べなさい」とお菓子をくれたり、お店ではおまけしてくれたり、子連れに温かく寛容な県民性なので、沖縄での子育ては楽だ、とよくいわれます。

皮膚科入局後、次女を妊娠して、時間を自由にできる大学院に進学しました。三女の妊娠出産もあり、長めの院生生活でしたが、考えてみるといまより大学にいる時間も断然長く、夜な夜な実験して失敗したり、研究カンファで厳しい指導があったり、臨床とは違いたいへんさがありました。院生同士、慰め励まし合い、指導してくださった高橋健造先生のおかげでなんとか医学博士になりました。大学院生を経験して、リサーチ力と何より忍耐力がついたと思います。もし、進路に迷われている若い先生がおられましたら、長い人生の中で、研究実験に携わる時間があっても決して悪くはありません、ぜひ大学院という選択肢も考えてほしいです。

ワークライフバランスですが、とくに子育てと仕事の両立は、元気な子か体調を壊しやすい子か、職場の状況、夫・実家・同僚の理解や協力があるかなど、人それぞれたいへんさの度合いが違うと思います。自分が管理職になって、子育てがたいへんな時期には時短や大学院進学など、余裕が出たら常勤で……と、状況に合わせて働き方を選んで、子育てしながら無理なく働き続けられる環境づくりが大事だなと感じています。幸い、私の周囲は、



妊娠・出産後もしっかり復帰してキャリアを積んでいます。

沖縄はこうに子どもに寛容で、共働きも多いので、周囲の理解が得られやすいのかもしれない。ワークライフバランスがうまく取れていないと感じている方、子育てと自分育てを両立したい方、人生の数年でもぜひ子育てしやすい沖縄へいらしてください。